

# 「環境の保全と創造に関する条例施行規則」の一部改正（事業者に対する温室効果ガス排出抑制計画及び措置結果報告制度改正）案

## 1 趣旨

県では、燃料、熱、電気の使用量が原油換算で年間 1,500kL 以上の事業所に対し、「環境の保全と創造に関する条例」（以下「条例」という。）に基づき、温室効果ガス排出抑制計画の作成・提出及び措置結果の報告を義務付けている。

加えて、大気汚染防止法のばい煙発生施設（燃烧能力 50 L /時以上のボイラー等）を設置している事業所であって、条例規模未満（原油換算で年間 1,500kL 未満）の事業所に対しては、「中小規模の事業者に対する温室効果ガス排出抑制指導要綱」（以下「要綱」という。）に基づき、計画の作成・提出及び措置結果報告の行政指導を行っている。

第 3 次兵庫県地球温暖化防止推進計画に基づき、現要綱対象事業所に対し指針を定めて排出抑制計画の目標設定等の指導を行うにあたり、根拠を条例に位置付けることで、着実な削減対策の推進を図る。（条例施行規則を改正）

## 2 改正内容（案）

大気汚染防止法のばい煙発生施設を設置し、エネルギー使用量（燃料、熱、電気の原油換算量）が年間 500kL 以上、1,500kL 未満の事業所を条例対象に追加

### 要件の考え方

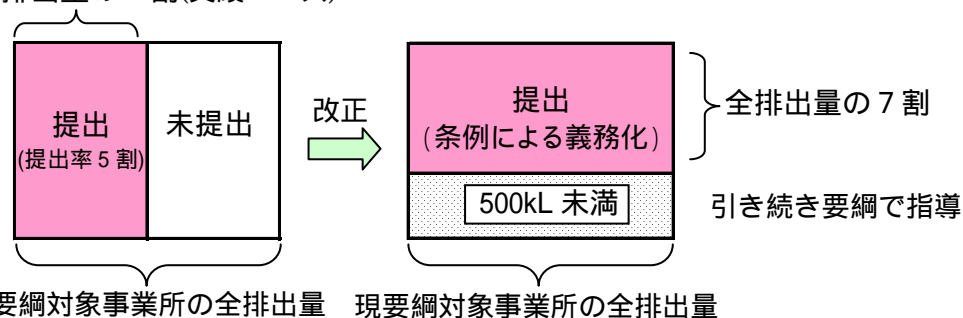
着実かつ効果的な削減対策の推進を図るため、現要綱対象事業所のうち、エネルギー使用量年間 500kL<sup>1</sup> <sup>2</sup>以上の事業所を条例に位置付ける。

なお、エネルギー使用量年間 500kL 未満の事業所については、引き続き要綱で指導する。

- 1：現条例（年間 1,500kL 以上）の 1/3 の規模。大気汚染防止法ばい煙発生施設のボイラー（燃烧能力 50 L /時）を 1 日 24 時間、年間 365 日稼働させた場合のエネルギー使用量に相当。
- 2：条例に位置付けることで、提出が義務付けられることから、対象を 500kL 以上とした場合でも、現要綱事業所の全排出量に対する提出分の割合は向上する。（現行 5 割 7 割。下記イメージ図参照）

### <イメージ図>

全排出量の 5 割(実績ベース)



## 3 新たに条例対象に追加予定の事業所数、提出様式及び公表制度との関係について

- (1) 対象事業所数  
約 460 社程度 

	(現行条例)	(改正後)	(現行条例)	(改正後)
産業部門: 事業所数	430 社	660 社 (+ 230 社)	部門内の排出量に占める割合	70% 71% (+ 1%)
業務部門:	200 社	430 社 (+ 230 社)	"	30% 42% (+ 12%)
- (2) 提出書類様式  
現要綱と同じとする。（別紙参照）
- (3) 公表制度

県は、現条例対象事業所の特定物質排出抑制計画及び報告の内容を、事業者単位で公表（HPに掲載）する予定である。エネルギー使用量が年間 1,500kL 未満の事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づく排出実績の公表の対象外となっていることから、本県においても対象外とする。

注：現要綱対象外の事業所（エネルギー使用量が年間 1,500kL 未満で、大気汚染防止法ばい煙発生施設を設置していない事業所）の取り扱いについては、今後データ収集等を行った上で検討する。



様式第1号

排出抑制計画書

平成 年 月 日

兵庫県知事 様

報告者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

工場等の名称			
工場等の所在地			
業種			
事業の概要			
これまでに講じた温室効果ガス排出抑制措置			
平成27年度までに講じる予定の温室効果ガス排出抑制措置			
二酸化炭素排出量	基準年度(平成24年度) [kg-CO <sub>2</sub> ]	目標年度(平成27年度) [kg-CO <sub>2</sub> ]	対基準年度比 (%)
連絡先	担当部署・担当者氏名		
	電話番号	FAX番号	
	電子メールアドレス		

別紙

各年度における二酸化炭素排出量

	使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素排出係数 (D)	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)
平成24年度 (基準年度・実績)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油		リットル	2.71	
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気			kWh	0.282
	熱供給事業者から供給された熱			MJ	0.060	
	二酸化炭素排出量合計					*
平成25年度 (計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油		リットル	2.71	
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気			kWh	0.282
	熱供給事業者から供給された熱			MJ	0.060	
	二酸化炭素排出量合計					
平成26年度 (計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油		リットル	2.71	
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気			kWh	0.282
	熱供給事業者から供給された熱			MJ	0.060	
	二酸化炭素排出量合計					

	使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素排出係数 (D)	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)	
平成27年度 (目標年度・計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49		
		A重油		リットル	2.71		
		B重油		リットル	3.00		
		C重油		リットル	3.00		
		都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25		
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00		
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70		
		ガソリン		リットル	2.32		
		軽油		リットル	2.59		
		電力会社から供給される電気			kWh	0.282	
		熱供給事業者から供給された熱			MJ	0.060	
	二酸化炭素排出量合計					*	

注) 燃料種別ごとの単位発熱量及び二酸化炭素排出係数は、以下のとおりである。  
 なお、電気及び熱の使用の二酸化炭素排出量は、使用量 × 二酸化炭素排出係数で求める。

使用の区分	燃料等の種類	単位発熱量 (MJ)	二酸化炭素排出係数
燃料としての利用	灯油	36.7	0.0678
	A重油	39.1	0.0693
	B重油	41.9	0.0715
	C重油	41.9	0.0715
	都市ガス(13A)	45.0	0.0499
	液化石油ガス(LPG)	50.8	0.0590
	液化天然ガス(LNG)	54.6	0.0495
	ガソリン	34.6	0.0671
	軽油	37.7	0.0686
	電力会社から供給される電気	-	0.282
	熱供給事業者から供給された熱	-	0.060

様式第1号

## 排出抑制計画書

平成25年 月 日

兵庫県知事 様

報告者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）  
 神戸市中央区下山手通  
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）  
 株式会社  
 代表取締役

工場等の名称	株式会社 神戸工場		
工場等の所在地	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 - -		
業種	食料品製造業		
事業の概要	食パン、菓子パンなどのパン類の製造		
これまでに講じた温室効果ガス排出抑制措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボイラーの設備を改善して燃焼効率を上げた。</li> <li>・ 蛍光灯を節電型蛍光管に取り替えることにより、消費電力の節電を図った。</li> <li>・ 昼休みの消灯</li> </ul>		
平成27年度までに講じる予定の温室効果ガス排出抑制措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボイラーの燃料転換（A重油 都市ガス）</li> <li>・ 製造工程の見直しによる省エネ化</li> <li>・ 冷暖房温度の適正化（冷房：28度、暖房：20度）</li> <li>・ 太陽光発電システムの導入</li> </ul>		
二酸化炭素排出量	基準年度(平成24年度) [kg-CO <sub>2</sub> ]	目標年度(平成27年度) [kg-CO <sub>2</sub> ]	対基準年度比 (%)
	2,450,000	1,808,000	74%
連絡先	担当部署・担当者氏名		
	電話番号 - -	FAX番号 - -	
	電子メールアドレス *****@ . .jp		

別紙

各年度における二酸化炭素排出量

	使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素排出係数 (D)	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)
平成24年度 (基準年度・実績)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油	800,000	リットル	2.71	2,168,000
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気	1,000,000	kWh	0.282	282,000
	熱供給事業者から供給された熱		MJ	0.060		
	二酸化炭素排出量合計				* 2,450,000	
平成25年度 (計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油	600,000	リットル	2.71	1,626,000
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)	166,667	m <sup>3</sup>	2.25	375,000
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気	833,333	kWh	0.282	235,000
	熱供給事業者から供給された熱		MJ	0.060		
	二酸化炭素排出量合計				2,236,000	
平成26年度 (計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油	400,000	リットル	2.71	1,084,000
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)	333,333	m <sup>3</sup>	2.25	750,000
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
		電力会社から供給される電気	666,667	kWh	0.282	188,000
	熱供給事業者から供給された熱		MJ	0.060		
	二酸化炭素排出量合計				2,022,000	

	使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素排出係数 (D)	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)
平成27年度 (目標年度・計画)	燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
		A重油	200,000	リットル	2.71	542,000
		B重油		リットル	3.00	
		C重油		リットル	3.00	
		都市ガス(13A)	500,000	m <sup>3</sup>	2.25	1,125,000
		液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
		液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
		ガソリン		リットル	2.32	
		軽油		リットル	2.59	
	電力会社から供給される電気	500,000	kWh	0.282	141,000	
	熱供給事業者から供給された熱		MJ	0.060		
	二酸化炭素排出量合計				* 1,808,000	

注)燃料種別ごとの単位発熱量及び二酸化炭素排出係数は、以下のとおりである。

なお、電気及び熱の使用の二酸化炭素排出量は、使用量 × 二酸化炭素排出係数で求める。

使用の区分	燃料等の種類	単位発熱量 (MJ)	二酸化炭素排出係数
燃料としての利用	灯油	36.7	0.0678
	A重油	39.1	0.0693
	B重油	41.9	0.0715
	C重油	41.9	0.0715
	都市ガス(13A)	45.0	0.0499
	液化石油ガス(LPG)	50.8	0.0590
	液化天然ガス(LNG)	54.6	0.0495
	ガソリン	34.6	0.0671
	軽油	37.7	0.0686
電力会社から供給される電気		-	0.282
熱供給事業者から供給された熱		-	0.060



【中小事業所用】

様式第2号

排出抑制措置結果報告書

平成 年 月 日

兵庫県知事 様

報告者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

.....  
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）  
.....  
.....

工場等の名称		
工場等の所在地		
業 種		
平成 年度に実施した温室効果ガス排出抑制措置の状況		
平成 年度における二酸化炭素排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	
連絡先	担当部署・担当者氏名	
	電話番号	FAX番号
	電子メールアドレス	

## 別紙

## 平成 年度における二酸化炭素排出量

使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素 排出係数(D)	二酸化炭素 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)
燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
	A重油		リットル	2.71	
	B重油		リットル	3.00	
	C重油		リットル	3.00	
	都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
	液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
	液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
	ガソリン		リットル	2.32	
	軽油		リットル	2.59	
電力会社から供給される電気を使用	電気		kWh	0.282	
熱供給事業者から供給された熱の使用	熱		MJ	0.060	
二酸化炭素排出量 合計					

注1) 電気及び熱の使用の二酸化炭素排出量は、使用量 × 二酸化炭素排出係数で求める。

注2) 電気の使用に係る二酸化炭素排出係数については、関西電力㈱の目標値(H20～H24の5か年平均)を用いている。他の電気事業者からの電気を使用している場合、排出係数を変更しても差し支えない。

注3) 液化石油ガス(LPG) 1m<sup>3</sup> = 2.18kg  
液化天然ガス(LNG) 1m<sup>3</sup> = 0.714kgを用いて計算してください。

注4) 燃料種別ごとの単位発熱量及び二酸化炭素排出係数は、以下のとおりである。

使用の 区分	燃料等の種類	単位発熱量 (MJ)	二酸化炭素 排出係数
燃料としての 利用	灯油	36.7	0.0678
	A重油	39.1	0.0693
	B重油	41.9	0.0715
	C重油	41.9	0.0715
	都市ガス(13A)	45.0	0.0499
	液化石油ガス(LPG)	50.8	0.0590
	液化天然ガス(LNG)	54.6	0.0495
	ガソリン	34.6	0.0671
	軽油	37.7	0.0686
電力会社から供給される電気		-	0.282
熱供給事業者から供給された熱		-	0.060

様式第2号

排出抑制措置結果報告書

平成25年 月 日

兵庫県知事 井戸敏三様

報告者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）  
神戸市中央区下山手通  
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）  
株式会社  
代表取締役

工場等の名称	株式会社 神戸工場	
工場等の所在地	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 - -	
業種	食料品製造業	
平成24年度に実施した温室効果ガス排出抑制措置の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ボイラーの設備を改善して燃焼効率を上げた。</li><li>・ 蛍光灯を節電型蛍光管に取り替えることにより、消費電力の節電を図った。</li><li>・ 昼休みの消灯</li></ul>	
平成24年度における二酸化炭素排出量	2,450,000 (kg-CO <sub>2</sub> )	
連絡先	担当部署・担当者氏名 総務課	
	電話番号 - -	FAX番号 - -
	電子メールアドレス *****@ . .jp	

別紙

平成24年度における二酸化炭素排出量

使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	単位発熱量 (MJ) × 二酸化炭素 排出係数(D)	二酸化炭素 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (C) × (D)
燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
	A重油	800,000	リットル	2.71	2,168,000
	B重油		リットル	3.00	
	C重油		リットル	3.00	
	都市ガス(13A)		m <sup>3</sup>	2.25	
	液化石油ガス(LPG)		kg	3.00	
	液化天然ガス(LNG)		kg	2.70	
	ガソリン		リットル	2.32	
	軽油		リットル	2.59	
電力会社から供給される電気を使用	電気	1,000,000	kWh	0.282	282,000
熱供給事業者から供給された熱の使用	熱		MJ	0.060	
二酸化炭素排出量 合計					2,450,000

注1) 電気及び熱の使用の二酸化炭素排出量は、使用量 × 二酸化炭素排出係数で求める。

注2) 電気の使用に係る二酸化炭素排出係数については、関西電力㈱の目標値(H20～H24の5年平均)を用いている。他の電気事業者からの電気を使用している場合、排出係数を変更しても差し支えない。

注3) 液化石油ガス(LPG) 1m<sup>3</sup> = 2.18kg  
液化天然ガス(LNG) 1m<sup>3</sup> = 0.714kgを用いて計算してください。

注4) 燃料種別ごとの単位発熱量及び二酸化炭素排出係数は、以下のとおりである。

使用の 区分	燃料等の種類	単位発熱量 (MJ)	二酸化炭素 排出係数
燃料としての 利用	灯油	36.7	0.0678
	A重油	39.1	0.0693
	B重油	41.9	0.0715
	C重油	41.9	0.0715
	都市ガス(13A)	45.0	0.0499
	液化石油ガス(LPG)	50.8	0.0590
	液化天然ガス(LNG)	54.6	0.0495
	ガソリン	34.6	0.0671
	軽油	37.7	0.0686
電力会社から供給される電気		-	0.282
熱供給事業者から供給された熱		-	0.060